

第9回久留倍官衙遺跡整備検討委員会 会議録要旨

1 日時 平成26年8月26日(火) 13:30~17:00

2 場所 四日市市役所9階 教育委員会室

3 出席者(順不同・敬称略)

【委員】

山中章(委員長)・伊藤久嗣・箱崎和久・中川ゆかり・中森ゆき子・古市立美

【アドバイザー】

三重県教育委員会 社会教育・文化財保護課 竹内英昭(班長)・石井智大(技師)・川部浩司(技師)

久留倍遺跡運営委員会 西脇壽郎

【事務局】

寺村明彦(副教育長)・伊藤伸樹(社会教育課長)・大島光信(社会教育課長補佐)・葛山拓也・清水政宏・石毛彩子・川崎志乃

4 傍聴者 1人

5 会議録(要旨)

(1) あいさつ

副教育長挨拶 第9回整備検討委員会にご参集いただきありがとうございます。整備検討委員会は平成23年度から第1回を始め、23年度には4回、24年度、25年度に各2回、今までに計8回で今回9回目になる。本日は事項書の通り、昨年度の報告、本年度の概要の報告、園路、八脚門、ガイダンス施設等について協議いただきたい。よろしく願います。

A 委員 本日欠席の黒崎先生、岡田先生は事前に意見をもらっているため、協議の中で出していく。では報告事項から願います。

(2) 報告事項

①昨年度の事業について

昨年度の事業についての報告(パワーポイント)

②今年度の事業について

今年度の事業についての報告(パワーポイント)

A 委員 造成したところは大雨で流れてしまうことはないのか。

事務局 造成は昨年度末に終わったが既に水みちができており、水や土砂が少し流れている。土のうを積んで道路に流れていかないようにしている。仮設の沈砂槽も設置した。

A 委員 芝などを植えていけば安定すると思うが、少し気になった。

C 委員 造成工事について周辺の住宅から苦情はないのか。

事務局 地元から意見はもらっている。近隣の家にはその家を守るような形で土のうを置き、雨が降るたびに見回っている。

C 委員 どのような土のうを積んだのか。北側の方にも積んだのか。

事務局 普通の土のうを積んだ。北側には30個、その他にも合わせて200個くらい積んだ。地元からは砂埃が立つと言われており、それについては草が生えて安定した状態だ。

D 委員 建築に当たって、ガイダンスの所は史跡ではない。地耐力を測定したのか。

- 事務局 造成前からボーリング調査はしている。
- D 委員 史跡はどうか。八脚門を建てるが地耐力がなかったら鋼管杭を打ったりするのか。
- 事務局 市役所内の建築確認を行う部署から意見を貰っている。必要な地耐力はある。建築上はコンクリート基盤を乗せる基盤がないといけないということだから実際の基盤は遺構よりも下になる。
- A 委員 先生方の研修会の反応とかはどうか。
- 事務局 内容は久留倍官衙遺跡の説明などまずは知ってもらう。ベテラン先生対象に 1 回、新採先生対象に 1 回、8/26 は中学校の先生を対象に行っている。興味を持って来てもらっており、中身もよく分かった、子どもには難しいと思うが授業でも使っていくという意見を貰っている。
- A 委員 先生の更新講習をやっているが、小学校から高校までいろんな先生が来る。よくご存知の先生と何も知らない先生との差が激しい。四日市の場合は根付いて貰わないと困る。具体的な意見をまとめられるようなアンケートを取るとか個別に意見を聞くことより具体化するのではないかと。
- 事務局 一番近隣の矢野知興譲小学校は先生だけで研修をしてもらったり、取り入れるものがないか考えてもらっている。
- A 委員 そういうのも全体の研修会の中で反映して、矢野知興譲小学校ではこういう意見もあるかどうか、といったやり取りもした方がいい。
- C 委員 整備途中で市民の方に見てもらえる機会はないのか。
- 事務局 ガイダンス施設が建った時点で見てもらいたいと考えている。建設は 12 月中にできる予定だ。次の会議までに出来ている。
- A 委員 建物を見るだけでも展示の中身を考えるにイメージしやすい。ぜひ次回、見たい。
- D 委員 以前、朝明中学校の生徒対象に勉強会をしてもらったが、校長先生が運営委員会であり、2 学期から中学校の先生全員に対して久留倍の勉強会を徹底していくと言っていた。教育委員会も手助けしてほしい。
- B 委員 ガイダンス施設の建設はどのような風にするのか。平成 26 年度に展示造作も終了させるのか。
- 事務局 今年度は建物だけで、展示造作については来年度になる。

(3) 協議事項

①史跡地園路の追加について

史跡地園路の追加についての説明

- A 委員 追加事項の 4 点あった 1 番目、八脚門へ直線的に政庁と平行して行ける道について何か意見はあるか。
- B 委員 門の南北にスロープを付けるとあるが、妻側になるのか。南側に付けると今、図では道が南側までいっていないがどうなるのか。
- 事務局 図の線の引き方が足りなかっただけで南側まで伸ばす。スロープは文化庁から提案されたもので、区画溝に沿って細くする形でどうかと意見を貰っている。
- B 委員 北側から上がり南に降りてもらおうのとはどうか。
- 事務局 北側から降りてもらおうイメージで回ってもらおう。南側から北側に降りられるようにすることでたくさんの方が来た時に一方向だと混雑する。軒先で 1.4m 幅があるので幅は十分だと思う。
- B 委員 園路の幅はどれくらいあるのか。

- 事務局 3mある。
- B 委員 復元図では基壇に石垣があるが健全者はそこを通るのか。
- 事務局 そうなる。段差は30 cmくらいで一段としては高めになっている。様子を見て、この高さも推定であり、動かせる補助の段を考えている。
- B 委員 それなら一段の段差を低くしてはどうか。基壇は文化庁の復元検討委員会が出た案でもともとあったか分からない。一段でもいいし、二段あるのならば一段を前に出してすっきりスマートにおさめた方がいい。
- 事務局 これから現状変更の許可申請をするが、（文化庁）復元検討委員会では今の形です承されている。便宜を図るためだが基壇形状を変えるという事が文化庁に了承を得られるかどうか。
- B 委員 基壇形状まで（文化庁）復元検討委員会で審議していたか。
- 事務局 基壇は、外装を検討するよという事で検討しているので対象になっていた。
- C 委員 文化庁の言い分もあるが使うのは四日市市民であり、それを考えているのが整備検討委員会だ。現状で30 cmは高いし、車いすの方がそこにはいかないと限らない。今の車いすは軽いため持って行ける。この図面は図面として、車いすの絵を入れるとかイメージが湧きづらいが使い勝手を考えた方がいい。南北のスロープは復元された板塀との間隔はこの平面図のどの辺にくるのか。
- 事務局 壁ではなく軒下に登っていけるように伸ばしていこうと考えている。
- B 委員 この園路の書き方が駄目で、正面側には園路はこないのではないか。その辺はしっかり図面に表さないといけない。
- 事務局 道の半分は軒下で半分は門の基壇前につながる形で考えている。県の方に質問だが、復元検討委員会で現状変更を申請するのに、便宜的に基壇の前にもう一段設けるというのは認めていただけるのか。
- 県教委 文化庁ではないので返事しがたいが、基本設計ということで通っているので、整備検討委員会で意見が出て、新たに考えていると評議を持っていくのは可能だ。ちゃんとした理由があれば通るだろう。
- E 委員 基壇が高くなっているという例は何かないのか。平城京の復元されている門も高くなっている。
- 事務局 例はない。久留倍官衙遺跡で基壇の痕跡がなかった。他の郡衙で政庁の門がある場合でも基壇は確認されていない。復元検討委員会で指摘があり、基壇を入れた理由として、1つ目はあの地形では段差ができてしまう。2つ目は今後の維持管理のため外装を入れた方がいいということだ。
- E 委員 郡衙以外でも基壇が高くなっているという例はないのか。
- B 委員 建物の建つ所は雨が入ってこないようにする必要がある。地面より若干高くしている。イメージパースの絵のように石で高くしていたのか、なだらかなスロープにしていたのか、しっかり残っている事例がないのでわからないというのが実態だ。基壇を石にしたのは分からないなりにしたというのが実態じゃないか。
- E 委員 復元ということと、実際に近寄りやすいということの2つの観点で常にミックスされると、とても分かりにくい。そのところどちらを優先していくのか。
- B 委員 実際に基壇はどれくらいの高さになるのか。
- 事務局 傾斜地にかかっている建物遺構の柱穴の高さの差で推定している。門側と建物が同じように削平されていることが前提となっている。穴の深さで考えると30 cm程度になる。
- B 委員 なだらかに勾配を付けることで南側の基壇の高さをできるだけ下げることが出来る。2段目を作る案も出たが、そうすると身障者用の車椅子のところには石が張り出す

形になる。具体的にいくつか案を考えるべきだ。幅 3mの半分だけ基壇にし、途中からスロープに切替わるというのでは段差ができるのではないか。その辺りも具体的に検討しないと難しい。

- 事務局 シミュレーションし、次回の審議にかける。
- B 委員 これは実施設計か。施工は来年になるのか。
- 事務局 実施設計の追加になる。工事工程が変わっているため来年か、再来年になる。
- A 委員 2点目、正殿への園路の追加について、形状及び位置について意見があれば欲しい。
- B 委員 周りは芝で園路はカラー舗装か。明らかに道であるということがわかるようになるのか。
- 事務局 そうだ。
- C 委員 今の赤い道の表示と緑の表示とは見た目で見分けが分かるのか。
- 事務局 赤の表示は園路なので舗装される。緑は草地の中で草を頻りに刈って通れるような道にする。
- A 委員 直線か曲線かという問題もあるが、直線にするというのでよいか。
- B 委員 報告書になぜこういう形にしたか書くべきだ。曲線にするとデザインによってはみずばらしくなり、非常にセンスが問われる。そういうことを避けるのであれば政庁も直線的なものなので直線が無難ではないか。洗練された曲線にできるなら一番いいが、すごく地形的にも難しい。
- A 委員 正殿への園路はAかBかということか。両方か。
- 事務局 どちらか一本だ。
- C 委員 デザインは分からないが利便性からいうと西に上がってくるのに遠い。自分が歩くなら赤い方のAをとる。遺構表示とのバランスを考えても直線の方がいい。政庁の端につく案は遺構表示が認識されないのではないか。
- B 委員 直線が問題だというのは遺構にかかってしまうからか。
- 事務局 正殿の南西角と現在の入口を繋ぐ形で線を引いたが、正殿の角のいい位置に付いたのでここに古代に通路があったと誤解されるのではないかと考えた。
- B 委員 それをいうとA案でもB案でも園路がこう来たのではないかと誤解をされてしまう。
- C 委員 それは説明してくれる人が最初の部分であればいい。高齢者の方は思わぬところでこけるので怖い。園路の端をどうするか。大きな出入りと園路との取付をどうするかが大切だ。バリアフリーとユニバーサルデザインが分かれて書かれているが意図的に使い分けてあるのか。
- 事務局 ユニバーサルデザインの中でバリアフリーになるが、八脚門のところではバリアフリーと書いたのは以前に園路を車椅子用に傾斜を登るという意味で使い、その他の所にはユニバーサルデザインは傾斜だけではなく手すりをつける、点字ブロックを置くなどという点を含めて使い分けている。
- B 委員 園路が南側にずっと回るのか。車椅子の方は正倉院の手前までになるのか。
- 事務局 回らない。正倉院地区は傾斜がきつい。自力では正倉院地区の手前までだと思う。
- E 委員 車椅子の方にとっては直線と曲線は変わらないのか。傾斜と曲線がセットになるとどうなのか。道の色によって現代人が付けたものだと分かるが、車椅子の人にとってどちらがいいのか。
- 事務局 3m幅でそれほど蛇行させなければ曲線でも変わらない。高低差は 2%の緩い下りで、個人的に車椅子を押した経験では直線の方が押しやすい。
- B 委員 西の入り口から正殿へ真っ直ぐ通ることと北側の倉庫のそばを通ることに問題はないのか。

- 事務局 倉庫にかからないようにとは言われている。
- B 委員 真ん中を真っ直ぐ通る道の方が収まりはいい。西側の入口の位置は変わらないのか。
- 事務局 変わらない。赤道と私有地との関係で入口の場所は変えられない。
- E 委員 見た目にも倉庫のちょうど間を道が通った方が片方に寄るよりきれいだ。
- 事務局 倉庫近くを通ると、車椅子の方が倉庫も見学してもらえと思う。
- E 委員 真ん中を通った方が両方が見えて規模も実感できていいのではないか。
- B 委員 倉庫の遺構は舗装を変えるのか、柱位置を変えるだけか。
- 事務局 柱位置で中を舗装して、時期ごとに色を変えることで各時期を区別する。
- B 委員 車椅子の方は倉庫の上も通れるのか。それならそれもいい。政庁に直角にした方がいい。北側の倉庫の側面を通り、ここに広い空間を作るとか直線がはっきり分かるようにする。
- A 委員 3点目、園路の外側の外周、点線のところについて意見はないか。傾斜度8%を緩和したいということだ。
- 事務局 真っ直ぐに上がろうとすると1.5m上がるたびに段々になる。スムーズにいくためには蛇行するのがいい。園路のルートは必要で、史跡地に建物を建てるため、緊急車両、消防車両の通り道として蛇行したところは通りにくい。蛇行したものを中に設ける。北側は地形が落ちているため造成しないと難しい。市の施設のためユニバーサルデザインの配慮はできるだけしたいが、景観を損なってまでとは考えていない。
- B 委員 遺跡の特徴がこういうスロープに建っている所なので仕方がない。史跡の中に園路を造るとしてもかなり目立たない形にするか、8%で我慢するか北側に張り出させる。造成するか橋状にするか。現実的なのは史跡を体験してもらおう意味でも現状の8%でいいのではないか。
- C 委員 上りより下りが怖い。子どもは走り回り、ガイダンス施設に行ったら真っ直ぐ八脚門へ走って行き、北側へ走って帰る。相当怖い。ガイダンス施設に、「注意してください」と貼り、ガイダンス施設以外のところに史跡の活用についてもマニュアル的なものを用意しておく。
- A 委員 下り坂8%のイメージがわからないがかなりきついのか。規則的には何%でも構わないのか。
- 事務局 かなりきつい。地形等の条件がある場合は8%までは認められる。ユニバーサルデザインでは4%となっているが自力でどうかはわからない。
- D 委員 8%だと1mで8cm上がるということか。そのまま、踊り場もなくずっと8%なのか。
- 事務局 踊り場もない。大きく中を通すとクリアできるが史跡の景観としてはどうなのか。
- C 委員 提案だが市内でも体の不自由な人、子どもに対応している施設がある。その意見を参考にしてはどうか。距離の短いところでの車椅子のスロープなど、整備自体が五感に訴えるような生の声を参考にしてほしい。
- B 委員 委員会での先生方の意見を含めて庁内でも意見を集約してもらい、どうしても4%の道を作らなければいけないのか一度、案を出してほしい。
- E 委員 緑の踏み分け道はどれくらいの傾斜になるのか。ここもきついのか。
- 事務局 ここもきつい。門前までの道を体感してもらい、遺構がないので固定表示はしないが、下からある程度ここに誘導できるようにしたい。
- B 委員 下から見えるのは門だから誘導はできる。道を付けるのが草地の保護なら分かる。
- 事務局 現状では砂が落ちている状況で草が安定して生えればいいが、真っ直ぐに道がついてしまうと雨で流れてしまう。そうすると曲げた方がいいのか。
- B 委員 そうなると古代の道がそこにあったのかという事になるが、理由の付け方が問題

だ。

- A 委員 どうしても人が通るとそこが固定の道のようにになってしまう。一応誘導するように道にするのはいいと思う。
- B 委員 雨が降った直後はぬかるんだままになるのか。踏み分け道は舗装もせず、草もない状態ならそこは水が流れたりする状態になる。
- 事務局 今の状態だとぐちゃぐちゃにはならない。流れてしまい下に水が落ちてしまう。
- B 委員 門の際が斜面が一番きついと思うが、階段とかは考えていないのか。
- 事務局 階段は考えていない。
- D 委員 その道に計画U字溝があり、水を吸収し落としていく。史跡の中にはU字溝がないため20~30%染み込ませて受ける計画か。道路に水が流れるということはその向こうのU字溝に流れるのではないか。
- 事務局 この水は流れるが今の水は上から下に流れるのではないかと考えている。
- D 委員 今はそうだが草地になった時に30%は浸透するが残りは流れ、一番下で受ける。今回の大雨で計画していた水の道と変わっている。整備が終わればきついことにはならないと思うが、現在は仮設で水が貯まるようにしてある。整備が完了すれば仮設が取れ、柵に貯まった砂を出す施設を要求している。現状と1、2年後は変わると期待している。
- A 委員 緑の道を付けることについてはいいか。
- D 委員 道を付けなければ通る道が1本になる。園路が行きも帰りも同じになる。南側の園路は途中で切れている。
- E 委員 園路まで繋がっていないがその先は行けるのか。踏み分け道は作っておかなければ行けないのか。普通に歩ける程度なら特に道を作っておかなくてもいい。
- 事務局 標柱がありその先も行ける。行けないことはない。管理次第だが、自由に行き来し、真っ直ぐな道が付いてしまう事は水の流れを変える恐れがあり避けたい。
- D 委員 道を舗装しないとすると、草の管理をしないと道が消えてしまう可能性がある。それなら小さな杭を打ち、草地と通路との区別をしてはどうか。
- B 委員 最初はなしでやってみて、落ち着いてきたらそれでいいし、問題があるようなら付けてはどうか。
- A 委員 運用していく中で臨機応変に対応し、少なくとも一本道がいくつも付くのは避けるということでもいいですか。

②政庁東門（八脚門）の復元について

政庁東門（八脚門）の復元についての説明

- A 委員 4点あるが、まず、使用樹種の選定について意見があれば欲しい。柱そのものが残っていないので何が使われていたのかは状況証拠になる。手に入れにくい樹種は避けたい。
- B 委員 他の遺跡の復元事例で樹種はこだわっているのか。
- 事務局 全てではないが、調べていくと発掘調査で柱が出ている場合はそれを踏襲している。出していない場合は、現在の植生等から周辺の樹種を選んでいる。
- B 委員 復元検討委員会では樹種までは指定していないか。
- 事務局 していない。
- B 委員 今の流れで行くと、報告書と予算の関係でヒノキにしましたとしか報告書に書けなくなってしまう。こだわるという事であればそれらしい理由が必要になる。
- 事務局 それらしい理由についてはこの辺の建築部材としてはヒノキが使われる傾向が高い

という事だ。古代ではなくもう少し広い時代になる。

- C 委員 最近の例を見ると県産材を選ぶ。今なら合成材は持ちがいいがそれは使ってもいいのか。
- 事務局 目立たなければいい。
- B 委員 だいたいヒノキになってしまう。
- A 委員 外観仕上げについてはどうか。
- B 委員 壁はどうなるのか。補強がいると思うが。
- 事務局 土壁にする。補強を入れるので土壁風になると思う。
- B 委員 漆喰壁風になるのか。漆喰壁はいいのか。
- 事務局 漆喰は使っていない。
- B 委員 漆喰にはしないが土壁にするのか。
- 事務局 白い壁だが漆喰にはしない。真っ白にはならない。
- E 委員 真っ白ではなくても白土を使っているのではないか。
- B 委員 漆喰と白土とある。白土は火山灰だが白くするかどうか。
- 事務局 白っぽくするくらいになる。
- A 委員 躯体保護については銅板をどこに使うか。塀の上もそうなのか。
- 事務局 そうだ。銅板を置いて雨水を入れないようにしてはどうかと、実施設計の業者から提案があった。外観に影響があるため良いかどうか。耐久性の点でどうすべきか迷っている。奈良時代の外観を考えると銅板を載せない方がいい。
- B 委員 銅板を載せるとイメージがだいぶ変わってしまう。塀の笠木についても外観が全く変わってしまう可能性がある。できたらやめた方がいい。材の耐久性は悪くなるが復元建物としては仕方がないことだ。
- 事務局 欠席の G 委員から柱の根元に銅板を巻いてはどうかという意見がある。伊勢神宮を参考にしているが史跡では下 3~5 cm を保護している事例はある。外観に影響がなく、巻くことで長持ちするのなら検討したい。
- B 委員 掘立柱にして根元に数cm銅板を巻くというのはわかる。遺構は掘立柱だが実施設計で造る時はコンクリートの基礎の上に建てることになると思う。その意味はあまりないのではないか。基壇があり、基礎の上に床の土の分しか巻けないので効果は期待できるのか分からない。
- A 委員 私も銅板については賛成しない。どうせ 20 年は持たないと思う。
- アドバイザーA 躯体保護ということだが塗装のことは考えているのか。
- 事務局 外観が変わらない形で、樹脂を塗装して保護する方法があるようだ。
- アドバイザーA 塗装というと色を考えるが、今は無色で素材の感触を損なわないようなものがあるはずだ。それで防錆的なものがあり、それも選択肢の一つにしてほしい。
- 事務局 外観が変わらない形で塗装での保護についてはどうか。
- B 委員 実施設計の中で防錆処理は出てくるはずだ。塗った当初はいいが、経年変化によって防錆処理していない所は色が変わって、防錆処理した所は色が変わらず逆に目立つということがあることを留意しながら使っていく。
- 事務局 それでは銅板はなし。外観が変わらないこと、経年変化、木材については適宜検討する。
- A 委員 最後に床についてはどうか。
- B 委員 管理の面が重要だ。三和土もちゃんと施工すればそれなりにいい。園路の舗装とは違って建物の土間に使うような形の三和土風の舗装にする。

③ガイダンス施設の展示造作（案）について

- 事務局 ガイダンス施設の展示造作（案）[ホール]についての説明
- E 委員 床面の航空写真には現在の海岸線が全部入るものと古代の海岸線は絶対に必要だ。最低、川と海岸線は地形を知るために必要だ。
- A 委員
事務局 遺跡はどの程度入れるのか。
古代の遺跡はこの周辺で分布があり、新名神道路により発掘調査された遺跡の関係で、朝明川の北岸に増えている。南岸にも遺跡数がある。
- E 委員 天武天皇、聖武天皇の行幸に関係ある遺跡なのか。
- A 委員 遺跡地図みたいに全部を入れる必要はない。近世の東海道と古代の東海道の違いが分かるものがあるとよい。古代の史跡にこだわる必要はない。遥拝所などを入れてはどうか。
- B 委員 今の面積で床面に置いた時に、立ったまま見られる状態になるのかイメージがわからない。
- 事務局 真上に立って見られる。
- A 委員
事務局 今、空いている空間はどれくらいなのか。
Pタイル1枚30cm四方なので1辺が6枚半くらいで2m四方になる。
- D 委員
事務局 ホールの寸法からいくと最大それくらいか。
今、見てもらっているのが2m四方だ。もう少し大きくできるが2m四方くらいが妥当かと思う。
- A 委員
事務局 1/10000だとどれくらいになるのか。
1/10000だとこれの1.28倍になるので2.5m×2.5mになる。
- D 委員
事務局 真四角でないとかだめなのか。2×3mとかではだめなのか。大きい方が見やすい。
入口を入ってからのところだからあまり置きたくないが受付の手前までは伸ばせられる。
- B 委員
事務局 特に四角く切らなくてもできるだけ広い範囲が入った方がいい。
床を削り抜く時の工法的な点で四角く切るのが一番いい。
- A 委員
事務局 写真は貼り付けるのか。
床を切り抜き、段を下げてそこに貼る。
- C 委員
事務局 ではライトアップを下からできるか。
それはできない。他でもライトアップは見たことがない。床面があり、その下はコンクリート張りで深くない。下に入れ込むと端が盛り上がり、そこでつまずく危険がある。飛鳥資料館でも盛り上がる場所は足元注意と看板があった。
- D 委員
事務局 基本的には地図を入れてもフラットなのか。
フラットになる。仮に上がっても数mm程度だ。
- D 委員
事務局 ライトを入れるならば工法的にフラットにしてコンクリートで下げるか。
コンクリートを下げるのは現在ガイダンス施設の工事中で難しい。
- B 委員
事務局 ライトを上から当てると薄暗くならないのか。
ホールは前面が窓ガラスになっており、光が入ってくる。
- C 委員 逆に反射するかもしれない。別の博物館でもそうだが下が明るい方が字も見やすく、反射を避けるためにもいい。上からのライトだけでは人の影で見にくい。しゃがんで見る子も出る。人の流れを考えた方がいい。
- 事務局 工法については展示造作者と再度確認する。大きさについても大きくできるか検討し、可能ならば大きくする。ホールの展示ケースについて、ケース内に土器を置き来館者に見せるように考えている。当初、係員が付き来館者に出して見せる計画だったが、常に係員を付けるのは難しいと指摘を受けた。土器に触れる日を設け、通常は

破片等を分けさせたりして、復元の関係はやめたほうがいいのかと意見をもらったが、ここにケースを置くかどうかの意見もほしい。

B 委員 ケースの位置はここか。ここに人が集まると地図が見られなくなる。遠足とかで大勢来なければ対応できるが、大勢くると対応しきれなくなる。

D 委員 触るとかは学習展示室で行い、ホールは展示スペースでいいのではないかと。運営委員会で持っている古代衣装 37 着の内、1 体でもいいので展示スペースをお願いしてあるがそれはどうなったのか。事務所と展示の赤のラインを 55 cm 開けてほしいとお願いしてあるがどうか。

事務局 検討したが難しい。

B 委員 事務所は引き戸か。それなら古代衣装を置いても問題はないのではないかと。

D 委員 前回図面上で 40 cm という話だったので倉庫の方へ 10 cm 壁を下げてほしいとお願いした。古代衣装でなくても展示もできる。40 cm では狭い。柱があるわけでもないのに、動かせられるのではないかと。変更できない何かがあるのか。

事務局 倉庫の広さを確保したい。設計には話してあるが、業者と打合せして変える事はできない。変えないままで古代衣装を置いて貰えないか。

D 委員 壁の 10 cm の移動が今から難しいのか。

アドバイザーA 基礎ができていれば変えられないが、基礎さえできていなければ変更は可能ではないか。

B 委員 設計変更になる。

D 委員 現在の設計が決定だから触ってはいけないのか。手続き上の問題ならば仕方がないと納得する。

事務局 床の地図についても今からなので絶対できない訳ではないから話を出した。

D 委員 40 cm 確保するなら後 10 cm 増やした方がいい。その方が何を置くにしても使えるのではないかと。できないのなら納得はできないが仕方がない。

事務局 古代衣装の展示は行いたい。

副教育長 何をクリアしたらできるのか、構造上問題なのか、何が問題なのかを明らかにする。

A 委員 古代衣装に限らず他のものも展示しなければいけない訳だから、その辺も含めて総合的に 10 cm 下げる事ができるのならばしてほしい。もう少し詰めて調整してほしい。臨時的に下がっている方が便利だと思うが無理なようなら報告してほしい。

【学習展示室】展示順路についての報告

E 委員 学習展示室に入って左に行くのは自然だと思う。

B 委員 誘導の問題であり、体験ブースに人が集まればどっち回りに限らず人は行ってしまふ。体験ブースを仕切り板とかで隠す形でこっちへ行ってくださいと誘導する。

事務局 B 委員の意見のように、仕切り板を置いて、黒崎副委員長からも看板を置いて誘導してはどうかと意見をもらっている。

B 委員 最後に体験ブースに行ってもらうのが自然だ。最初に体験ブースに行ったら体験しないで帰ってしまう人がいそう。

アドバイザーA 受付の前に行く人は少ないのか。そこでパンフを貰って入っていくということはあるのか。その方法だとクロスしてしまう。時計と逆回りの場合、入る人と出る人の導線がクロスする。

C 委員 出入り口が一つだから右でも左でも人が多ければクロスする。パネルの文字が縦書きで右から左、横書きで上下、番号が書いてあり、順路の表示さえされていけば誘導の問題だ。学習展示室と研修室の仕切りは可動パーテーションで収納できるか。出し

入れの位置をきちんとする。

事務局

収納できるようになっている。

B 委員

どういう感じのものか。天井まで付かない感じなのか。

事務局

天井まで付く感じだ。

事務局

そうなる。右回りか左回りかだが、反時計回りで回っている所だと古文書などの巻物が右から左へ展示されているので反時計回りになる。文字は横書きになると思うが縦書きで表示した方がいいのか。近くでは斎宮歴史博物館が逆回りになる。ガイダンス入口正面に見えるのが3になり、インパクトがありそこへ引き込まれるのではないかと思うがどうか。

D 委員

伊賀の芭蕉博物館はガラスケースがあり、真ん中に島を造りそこにいろんな展示がしてある。ここだと真ん中にガラスケースがあり、巻物があると左回りの方がいい。壁面に置かれると逆の方がいい。

A 委員

狭い空間だしあまり右回り左回りにこだわらなくてもいいのではないかな。体験ブースは最後の方がいいが原則こう回って下さいというのでいい。基本的にガイダンスの誘導は今の通り、最後に体験ブースで出ていただくという形でいいのではないかな。

事務局

字の縦書きというのはいかが。

A 委員

真ん中にケースがあつて縦書きで両方に説明板が付いているので気にしないでいいのではないかな。考古は字が多く縦書きだと読みにくいので基本的には横書きだと思う。

B 委員

流れが分かれば場面が続いているわけではなく、ストーリーさえできれば読めると思う。縦書きの方が流れとしては美しい。メリハリを付けて、ややこしくしなければいい。

【学習展示室】パネルの内容についての報告

E 委員

万葉集の展示表記は漢字、訓読、現代語訳の3点が必要。

事務局

一度作成して提示したい。

【学習展示室】○展示物の検討についての報告（資料 P10）（清水より）

先生から木簡は市教委で作ってはどうかという意見があつた。

A 委員

木簡の展示はどこでもある。お金をかけてまで作る必要はないと思う。レプリカでなくても写真だけでもいいのではないかな。一枚だけ置いてもわからない。現物で木を削り墨で書くというのでもいい。本物でもレプリカでも区別がつかない。我々でも解説が難しい。触るのが怖いのでそれでいいのではないかな。

事務局

写真等を展示し、削ったものを展示する。

B 委員

自分で削って書いてもらうのでもいい。

A 委員

木簡の移動を分かるような展示にした方がいい。分かりにくいものを置いて木簡だと言っても展示を見に来る人には分からない。どういう動きをして平城京まで行ったのか分かるような解説と展示をすべきだ。宅急便と同じ役割をしていたのだから、今の宅急便のシールを置いてもいい。木簡のレプリカを作り、そういう説明の中で示した方がいい。あなたが古代人になって荷物を送るとしたら、古代の住所に合わせて書いてごらんください、という体験コーナーと合体するともっとリアルに分かる。レプリカをどうしようかというだけでは答えにくい。

C 委員

団体で1、2クラス、40人くらいでいっぱいになると思う。行き帰りを含め自由時間は2、3時限だ。昼までやって先生方は安全に返さなければいけない。先生方の研修が大切だ。なんでもかんでもやると疲れる。今のガイダンス施設は面白くない。ごく当たり前の写真パネルは見てくれない。共同で地域の子もたちと造っていき、な

おかつ管理がしやすいものがある。今の案はスマートに出来ていて面白くない。

事務局

皆で協力して作っていくものとして円面硯の複製、木簡の複製などを考えていく。木簡は展示だけではなく、体験ブースで自分の現在の住所を古代の住所に変換して書いてもらう。県外からの人についても工夫し、木簡の体験ブースを考えていきたい。レプリカは多くて2点、写真2点で考えていく。博物館が三重郡の木簡レプリカを持っている。これも活用していきたい。

【学習展示室】遺構模型についての報告

B 委員

遺跡の整備自体が時期の複数重なった遺跡の整備なので、説明をガイダンス施設をするためにも少なくとも3つくらいの模型、イラストが必要だ。現地で見ると説明が必要になる。丘陵の裾部の遺構は模型で表現したり説明しなくていいのかという問題だ。

事務局

変遷図についてはパネルを作り、模型の横に小区分8期を置く予定だ。

B 委員

変遷図は我々でも難しい。地形も絡んでいくから平面図だけでは分からない。最低イラストだ。模型ならよく分かる。8期分のイラストを作ると大変だから、3期分の模型とイラストを作るという案は分かり易い。遺構表示するのはこの3つですべて集約されているのか。

事務局

現地の整備については、I-②期のこの部分は現地で表示してあり、II-①期の長大な建物、II-③期の長大な建物は半立体表示、正倉院はIII-②期を平面表示する。裾部は現地では見えない。

E 委員

模型が一番分かり易いと思うが、模型3つはどれくらいの大きさになるのか。

事務局

1/300だ。地形については上から下まで標高差が10mあるが模型だと3cmしかないため縦横比率を変えて表現する予定だ。

E 委員

イラストで変遷をたどる事は絶対必要だが、聖武天皇の行幸に焦点を当てて模型をもう少し大きくすることはできないのか。どういう風に建物が変化していったかと専門家は見るが、一般人は聖武天皇なら知っている。その聖武天皇が久留倍を利用した時はどうだったか。そこに焦点を当ててみる事はできないのか。

事務局

3つ作る模型を1つに集約すれば可能だ。

E 委員

変化はイラストで示すというのはどうか。どちらも必要なのだが分かり易いものを1つ作ると想像力をかきたてるのではないか。聖武天皇の行幸で家持が歌を詠み、宴が想定できるなら建物や地形だけではなく、人を配置して再現することはできないのか。音声を入れるのはどうか。

C 委員

皆さんが知っている人物でストーリーがありながらスマートに作る。見せようというポイントを作ることはE委員の意見のように大切だ。四日市だからというものをに入れてほしい。

A 委員

E委員の言ったように、自分がやるなら東海道も作り聖武天皇が400の騎兵を連れて家持が歌を詠む、というようにしたい。自分がいうと押し付ける話になると思い言えないが、許されるならやりたい。

C 委員

一か所でもストーリー性を持ち、遊び心を持って発掘のプロとしてガイダンス施設に子どもたちを迎える。運営委員会がイベントでおもしろおかしくしてくれている事で久留倍のイメージが広がっている。

D 委員

運営委員会の研修旅行でいろんなところの展示ブースを見るが、それぞれが特徴を持ってやっている。今から作るのだからどこもやっていない新しい試みをしてほしい。見に来る方はマニアックなことを言われても分からない。何度も行って楽しかったと

思わせる。文字で見せても入ってこない。ビジュアルで見せる。見せ方の工夫が必要だ。他にない展示方法を入れ、話題になるようにしてほしい。

B 委員
事務局

教育委員会で素案を作り業者に渡すのか。

市教委が素案を作り業者に発注をかける。業者と話し合いの中で協議をしており実施設計はない。

B 委員
事務局

地図を下に置くというのも相談なのか。

相談して予算的なものを出してもらっている。

B 委員
事務局

大がかりなことは他にできないということなのか。

実際は予算的に厳しい。

B 委員

外はできるが中に入れるものは手作りするということか。

A 委員

業者に出すほどの予算がないということか。そうなれば余計に工夫しなければいけない。パネルの原案はメールで送ってある。先生方には負担が増えるがそれぞれの専門分野で具体的な意見を出してほしい。今のままでは決め難い。集約し、そこら辺にあるようなものではなく、ここに来なければならないようなものを考えてほしい

B 委員

1/300 は作りづらいしサイズとしては小さい。1/200 くらいがいい。細かいところが表現できなくて安っぽくなる。模型を作る予算を使い、イラストで紙芝居みたいにやった方が楽しめる。

E 委員

模型があればリアルで楽しく、万葉集は人を呼ぶ事ができる。ポイントを置いて再現して1つくらいは立体的なおもしろいものを作ってほしい。

事務局

映像展示についても資料の表を付けており、見て意見が欲しい。基本を整備検討委員会で示し会議を開くか、データで提出し、了解得て各専門の先生に意見をいただきたい。

A 委員

では第9回整備検討委員会を閉会する。具体的に検討いただき事務局の方をお願いする。